

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年7月16日

施設名	高知県立武道館	所管課	スポーツ課
-----	---------	-----	-------

1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人高知県スポーツ振興財団	指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日
施設所在地	【本館】高知市丸ノ内1丁目8番3号 【分館(弓道場)】高知市丸ノ内1丁目2番71号		
事業内容	1 施設の運営に関する業務 2 施設の利用促進及び利用許可に関すること 3 利用料金の収受に関する業務 4 窓口業務に関する業務 5 施設及び設備の維持管理に関する業務 6 スポーツ振興事業等に関すること 7 その他施設の設置目的達成以外に必要と知事が認める業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 1 面積 【本館】敷地面積:2,818㎡、建築面積:1,140.98㎡ 【分館】敷地面積:1,089㎡、建築面積:498㎡ 2 構造 【本館】鉄筋コンクリート造4階建 【分館】鉄骨平屋建 3 駐車場 30台収容 4 施設、設備 【本館】1階:剣道場、柔道場、研修室、会議室、記者室、休憩室、更衣室、シャワー室、事務室 他 2階:更衣室 他、3階:試合場、4階:観客席 482席 【分館】近的射場:10人立、61㎡ 5 利用時間 【本館・分館】8:30～21:00 6 休館日 【本館・分館】12月29日～1月3日 7 主な料金 【本館】試合場:19,090円 ※一般利用者(団体利用)が入場料を徴収せず全日(8:30～21:00)かつ全面を使用した場合 【分館】弓道場:3,920円 ※一般利用者(団体利用)が入場料を徴収せず全日(8:30～21:00)使用した場合		
職員体制	常勤職員:4人 非常勤職員:1人 合計:5人 職員数は令和8年4月1日現在		

2 収支の状況

単位:千円

		令和6年度(決算)	令和7年度(決算)	令和8年度(予算)
収入	県支出金	24,140	28,388	33,174
	使用料・手数料	8,891	11,678	9,660
	その他	1,513	1,628	550
	収入計 (a)	34,544	41,694	43,384
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	19,672	22,088	28,465
	人件費	16,549	19,307	19,977
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	36,221	41,395	48,442
収支差額 (a) - (b)		-1,677	299	-5,058

3 利用状況

	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	令和8年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	70,963	77,990	80,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 1 ご意見箱の設置(常時) 回答数:4件 2 各教室にてアンケートを実施 回答数:スポーツ教室(4教室1~3期) 137件、夏休み小学生武道入門教室 26件 合計 163件 ※令和7年度は前年より、ご意見箱への投書が多い年度であった。		
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・個人情報取り扱いの観点から、ご意見の記入様式を見直し ・分館(弓道場)のフェンス及び館内へ、関係者以外の許可のない立ち入りや見学、撮影を禁止する掲示物を設置 ・分館(弓道場)において、矢取り時の重大事故を防止するため、弓道連盟と連携してルールの周知徹底および掲示物を設置		
	○ その他		
③その他特記事項	・令和7年度5月より、文化財保全の点から、旧致道館門の修繕工事が令和8年3月まで実施された。かねてより武道館は、駐車場の利用台数に問題を抱えている施設だが、現場の利用状況や予定を踏まえ、施工業者と連携しながら、極力利用者への負担が少ない駐車場の環境維持に努めた。		

4 年度業務評価

項 目		状 況 説 明
①適正な管理運営の確保		・法令、事業計画書、協定書(仕様書)等の内容を遵守し、適正な管理運営を行った。 ・「台風時想定フロー」「南海トラフ地震発生時想定フロー」をもとに、各職員が適切(柔軟)に対応できるようにしている。また、年2回、消防訓練を行い有事に備えている。 ・昨年度の指摘内容である剣道場隅のパイプ緩衝材について、修繕の必要性の判断や再確認等がされておらず、現職員に引き継がれていなかった。
②利用者サービスの維持向上		・スポーツNAVIや新聞の情報面への掲載等を活用した情報提供を積極的に行っている。また、デジタルサイネージを活用して発信するなど、視覚的に訴える周知も取り組んでいる。 ・事業実施後は、アンケート調査や職員間での話し合いを行い、事業の効果や気付いた点を共有しサービス向上に取り組んでいる。 ・月1回の定例会や職員間での話し合い、重要な内容については直接伝達を行っている。
③利用実績		・令和6年度利用者実績:70,963人 ・令和7年度利用者実績:77,990人(対前年度増減率 9.9%)
④収支の状況		【収入(管理代行料除く)】 ・令和6年度:10,404千円 ・令和7年度:13,306千円(対前年度増減率 27.9%) 【支出】 ・令和6年度:36,221千円 ・令和7年度:41,395千円(対前年度増減率 14.3%)
総合評価	B	・武道の競技人口の減少に伴い、競技会や講習会などへの参加者が減少傾向にある中、武道に触れる機会を増やすため、体験会を企画し利用者の底辺拡大に努めている。 ・チラシ配布地域の拡大やSNS(Instagram)の活用も積極的に行っており、素早い情報提供と幅広い利用者層への働きかけを行っている。 ・自主事業について、夏休み小学生武道入門教室、年間を通した体操教室や体験教室など実施している。 ※利用者及び収入の増加について、団体利用の増加や物価高騰に対応した利用料金の見直し、利用者及び収入の主な増加要因と考えられる。)

- 【評価の目安】
- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの